

秋風を感じる今日この頃ですが
皆様、いかがお過ごしでしょうか。

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」第 110 号をお届けします。

当メールマガジンは、ご登録いただいた皆様に加え、
名刺交換をさせていただいた方にもお送りしております。
新着情報も多数ございますので、公文協ご担当者様におかれましては、
ぜひご所属団体、施設内で情報共有をいただけますと幸いです。

※本メールマガジンのメールアドレスは配信専用です。
このメッセージに返信しないようお願い致します。

----- 目 次 -----

【1】全国公文協からのお知らせ：

全国アートマネジメント研修会・舞台技術研修会／
「公文協シアターアーカイブ」動画配信希望団体を公募／
個別施設計画の策定に関するオンラインセミナー／理事会・専門委員会／
障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査／
新型コロナ感染予防ガイドライン改定／
コロナウイルス感染の長期化に伴う影響調査 調査報告／
新型コロナ意見フォーラム／制度保険

【2】ピックアップ：

文化庁 令和 3 年度概算要求／文化庁 京都移転協議

【3】会員等からのお知らせ：

JATET フォーラム 2020 アンケート調査／
日本テレビ小鳩文化事業団<スクールコンサート>／
同<想いで詩コンサート>／
Lowland Jazz 「JAZZ FOR THE YOUNGER GENERATION」

【4】〈新連載〉公立文化施設はコロナ禍にどう対応したか

～第 1 回 ロームシアター京都 感染判明と、その後の対応～

【5】助成等に関する情報

【1】 全国公文協からのお知らせ

★<予告>全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会・
全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会

今年度、全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会と
全国舞台技術研修会を個別に開催します。

◎全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会
開催日程：令和2年2月2日（火）～5日（金）
場所：としま区民センター

◎全国劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会
開催日程：令和2年2月10日（水）～12日（金）
場所：札幌文化芸術劇場

募集開始はいずれも12月頃を予定しています。

▼ 詳細が決まり次第、全国公文協のウェブサイトへアップします ▼

<https://www.zenkoubun.jp/training/art.html>

<https://www.zenkoubun.jp/training/technic.html>

★<予告>文化芸術収益力強化事業「公文協シアターアーカイブス」
～動画配信希望団体を公募します～

文化庁委託事業「公文協シアターアーカイブス」により、
動画配信を希望する劇場・音楽堂等または芸術文化団体の公募を
まもなく実施いたします。
概要は以下の通りです。

公募期間：概ね10月下旬～11月中旬を予定
(文化庁との契約締結後速やかに公開します)

公演等の実施・収録期間：12月1日～2月28日

対象公演等：

- ・ 公立の劇場・音楽堂等が制作・実施する公演等
- ・ 公立の劇場・音楽堂等を会場に芸術文化団体が制作・実施する公演等

採択件数：10 団体程度

経費負担：1 団体あたり 2,100 万円を上限に対象経費を負担（予定）

公募要項は 10 月下旬に当協会ウェブサイト等で公表予定です。

応募方法等の詳細は、そちらをご確認ください。

▼ 本事業における、その他の採択団体が行う公募に関する情報等は
こちらから ▼

https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/92491501.html

=====
★<受付開始>

個別施設計画の策定に関するオンラインセミナー

=====
2020 年度中に策定が求められている

個別施設計画策定に関するオンラインセミナーを
開催いたします。

「劇場・音楽堂等 個別施設計画策定推進オンラインセミナー」

日 時：11 月 2 日（月）13:30～16:00

お申込：10 月 15 日（木）～10 月 30 日（金）17:00

会場参加者も人数限定で募集します。

▼ 詳細及びお申込みはこちらから ▼

URL：https://www.zenkoubun.jp/support/etc_plan.html

=====

★理事会・専門委員会 開催のご案内〈再掲載〉

=====

令和2年度（2020年度）第2回理事会と専門委員会は、以下の通り開催する予定です。

日時：10月27日（火）

午前 専門委員会・常設部会

午後 理事会

※前日26日（月）、専門委員会・特別部会を開催

場所：東京都中小企業会館9階 講堂 ほか

東京都中央区銀座2-10-18

新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催などに切り替える可能性もあります。

=====

★障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査
～ご協力のお願～

=====

今般、文化庁より委託を受け「障害者文化芸術活動推進に向けた劇場・音楽堂等取組状況調査」を実施いたします。

本調査は、今後の劇場、音楽堂等における障害者の文化・芸術活動の推進に必要な情報の収集を目的として実施する、大変重要なものです。

国公立文化施設ならびに一部の私立施設へ依頼を郵送させていただきました。
お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

回答期限：令和2年11月13日（金）

▼ 詳細・回答はこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/info/2020/survey.html>

=====

★劇場、音楽堂等における

新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを改定しました

=====

9月19日以降、劇場、音楽堂等の催事における
客席の収容率および人数の上限が緩和されました。
全国公文協は、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の
方針に基づき、5月25日に策定したガイドラインを改定しました。

▼ ガイドライン改定版はこちらをご覧ください ▼

https://www.zenkoubun.jp/covid_19/files/0918covid_19.pdf

なお、クラシック音楽公演における感染予防ガイドライン、
舞台芸術公演における感染予防対策ガイドラインも、
別途、公表されています。

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/202006171800_01.pdf

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/sonota_oshirase/pdf/202000702_01.pdf

=====

★新型コロナウイルス感染の長期化に伴う影響調査

～調査報告がまとまりました～

=====

全国公文協は、新型コロナウイルス感染の長期化に伴う
公立文化施設への影響を調査し、
全国47都道府県の計646施設よりご回答をいただきました。

施設での感染者の発生は1%以下にとどまったものの、
昨年度の決算において
100万円以上の損失の発生した施設が半数近くに上り、
そのうち1/3強では自治体からの補填がなかったことがわかりました。

▼ 詳細な調査報告は全国公文協のウェブサイトをご覧ください ▼

https://www.zenkoubun.jp/info/2020/0930covid_19.html

=====

★新型コロナ意見フォーラムの掲載開始〈再掲載〉

～引き続きご意見等を募集しています～

=====

新型コロナウイルスの感染が続くなか、今できること、やらなければならないこと、これから改善すべきことなどを含め、皆様と知恵を出し合い、共有できるコーナーを全国公文協のウェブサイト開設しました。

皆様からお寄せいただいたご意見やご提言は、順次掲載を更新しています。引き続き、皆様の斬新な提言や事例紹介等の募集を行っておりますので、ぜひ、ご協力ください。

▼ 意見フォーラム募集概要・原稿フォームは公文協ウェブサイトから ▼

URL : https://www.zenkoubun.jp/covid_19/index.html

=====

★令和3年度の公文協制度保険について

=====

いざという時に役に立つ、全国公文協の保険ですが、2021（令和3）年度の保険料お見積りを「制度保険 web サイト」にてご確認いただけます。

《印刷手順》

1. ID・パスワードを入力してログインしてください。
※ID・パスワードは保険の手引に同封してお送りしています。
2. トップページ右側の〔各種お手続き〕の
〔2021年度のお見積りはこちら〕をクリックしてください。
3. 見積書が表示されます。印刷してお使いください。

▼ 制度保険 web サイトはこちら ▼

URL : <https://zenkoubun-hoken.net/>

▼ お問合せはこちらまで ▼

見積、保険の内容について：芸術の保険協会（TEL：03-6712-6219）

ID・パスワードについて：全国公立文化施設協会（TEL：03-5565-3030）

【2】ピックアップ

=====

★文化庁 令和3年度の概算要求が公開されました
～コロナ対応、人材育成に重点～

=====

9月29日、令和3年度文化庁概算要求が公開されました。
要求・要望額は、前年度より48.8%多い約1,588億円で、
このうちコロナ対応として約520億円が要望されています。

新規項目としては、「文化芸術の創造・発展と人材育成」のうち、
文化芸術活動の継続・発展等支援に対して
約161億円の要求が盛り込まれました。
ここには「文化施設の感染症防止対策事業」（21億円）も含まれています。

また、昨年につき「文化財の確実な継承に向けた保存・活用の推進」にも
重点が置かれています。

▼ 詳細は文化庁のウェブサイトをご覧ください ▼

概要：https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/yosan/pdf/r3_gaiyo.pdf

参考資料：https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/yosan/pdf/r3_gaiyo_sanko.pdf

=====

★文化庁 京都移転協議について

=====

9月14日、第9回文化庁移転協議会が開催され、
令和2年度京都移転シミュレーション実施計画および
令和元年度京都移転シミュレーション検証結果について討議されました。

▼ 配布資料は文化庁のウェブサイトで公開されています ▼

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/bunka_iten/09/index.html

【3】 会員等からのお知らせ

=====

★JATET フォーラム 2020 アンケート調査について

=====

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET) では、
設立 30 周年記念事業として
JATET フォーラム 2020 セミナーを開催予定です。
有料配信コンテンツとして制作し、基調講演、
技術系 5 部会によるセミナーを配信予定です。

セミナー開催に先駆け、
全国の劇場・舞台技術・管理運営者等の皆様に、
ご所属の施設、会社等で有料視聴が可能なプラットフォームや
視聴環境をお伺いしたくアンケートを実施いたします。
どなたでもお答えいただけますので、ご協力のほど
宜しくお願い申し上げます。

回答締切：11月6日（金）まで

▼ アンケートフォームはこちらから ▼

URL：<https://www.jatet.or.jp/inq202010/>

▼ お問い合わせは劇場演出空間技術協会（JATET）まで ▼

TEL：03-5289-8858 FAX：03-3258-2400

=====

★日本テレビ小鳩文化事業団<スクールコンサート> ～企画の提案と開催地募集～

=====

プロのライブを聴く機会の少ない地域の小・中学生を対象に、
さまざまなジャンルの音楽に接する機会を創る<スクールコンサート>。
地元中学校の吹奏楽部や少年少女合唱団の皆さんが
プロの演奏家と共演する機会も作れる当コンサートは、
現在、2021年度、2022年度の開催場所を募集中です。

当コンサートは公益文化事業として実施し、
会場費等の一部経費を除き、制作経費の全額を財団が負担します。
まずは開催を希望される会館や学校を募集いたします。
申込書の形式は、特にありません。

○企画内容はこちらから：<http://www.ntvkb.jp/>

○申込先・問合せ先：公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

e-mail：nkb-XXX-@ntvcf.or.jp（※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。）

※折り返しご連絡いたします。

=====

★日本テレビ小鳩文化事業団＜思い出の詩コンサート＞
～企画の提案と開催地募集～

=====

プロのライブを聴く機会の少ない地域を中心に
2008年より開催している＜思い出の詩コンサート＞。
1960年代、70年代の日本の名曲を中心に選曲、構成している
音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えていくコンサートで、
地元の少年少女合唱団とプロが共演する点も特徴です。

現在、2021年度、2022年度の開催場所を募集中です。
当コンサートは公益文化事業として実施し、
会場費等の一部経費を除き、制作経費の全額を財団が負担します。
まずは開催を希望される会館を募集いたします。
申込書の形式は、特にありません。

○企画内容はこちらから：<http://www.ntvkb.jp/>

○申込先・問合せ先：公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

e-mail：nkb-XXX-@ntvcf.or.jp（※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。）

※折り返しご連絡いたします。

=====

★Lowland Jazz

「JAZZ FOR THE YOUNGER GENERATION」のご案内〈再掲載〉

=====

我が国のほとんどの学校には吹奏楽部があり、
日々の練習、そして本番に向けて努力を惜しまず活動をしています。

本プログラムは、子供たちが「Lowland Jazz」による
ワークショップと、本番のステージを共有することで、
音楽のもつ最大の魅力を感じ取り、
演奏することの楽しさを実感してもらうプログラムです。

本企画を実施して頂ける開催館を募集します。
公共ホールが推進する地元の青少年を対象とした
社会貢献プログラムとして、ぜひご活用ください。

▼ 企画概要はこちらをご覧ください ▼

URL : https://www.zenkoubun.jp/event/info_253.html

▼ お問い合わせはこちらまで ▼

武井明彦・武井企画（賛助会員）

TEL : 090-6529-9146

Email : akihiko-takei-XXX@hotmail.co.jp

(※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

【4】新連載：公立文化施設はコロナ禍にどう対応したか

～第1回 ロームシアター京都 感染判明と、その後の対応～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、いまだ収束する気配を見せません。劇場、音楽堂等の催事における収容率や人数上限は緩和されましたが、感染者発生リスクを抱えながらの施設運営は続き、今後も徹底した感染予防対策が求められています。

新型コロナウイルス感染症という新しい脅威に対し、これまで公立文化施設はどのように対応してきたのでしょうか。第1回はスタッフに感染者が発生したロームシアター京都の事例をご紹介します。

■□■ 第1回 ロームシアター京都 感染判明と、その後の対応 ■□■

6月26日、ロームシアター京都において、バックヤードで勤務していた委託業務従事者1名が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

同施設は6月25日に委託業者より「従業員1名が濃厚接触者となり、PCR検査を受検する」と連絡を受けると、その日のうちにその従業員と同じ勤務日で直接接触した従業員を自宅待機させ、26日に陽性と判明してからは、その従業員の行動経路を確認して消毒を実施しました。そして、26日のうちにウェブサイト上で感染者発生事実および感染判明の経緯、施設側の対応を発表し、翌日以降の通常営業も告知するという、非常にスピーディな対応を行っています。

ロームシアター京都では、事前に感染者が出た場合の対策を決めていたのでしょうか。また、濃厚接触者が出てからウェブサイトで告知するまで、具体的にどのような検討がなされ、どのような判断をして、このような対応をすることになったのでしょうか。

そのほか、保健所との連携、感染者と接触した職員のPCR検査や健康観察の範囲、消毒作業の範囲、利用者の反応などを、指定管理者である公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団でロームシアター京都管理課長を務める宮崎さんにお聞きしました。参考になさってください。

▼ ロームシアター京都の事例は以下でお読みいただけます ▼

URL：https://www.zenkoubun.jp/info/2020/pdf/1015_column.pdf

【5】 助成等に関する情報

現在募集中の助成・活動支援等に関する情報を紹介します。
そのほか締切まで期間のあるものは公文協ウェブサイトにも掲載しております。
あわせてご覧ください。

<https://www.zenkoubun.jp/support/grant/index.html>

★☆☆ 助成情報【 新規掲載 】 ★☆☆

★芸術文化振興基金／文化芸術振興費補助金
～助成対象活動募集開始のご案内～

令和3年度の芸術文化振興基金、文化芸術振興費補助金の
助成対象活動の募集を始めます。

応募方法がインターネットを介した電子申請に変わります。

応募受付期間 令和2年11月2日（月）～20日（金）

▼ 詳細は芸術文化振興基金の特設サイトを御覧ください ▼

https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/lp/2020/bosyuu_0.html

★応募に関する相談は、オンライン（予約制）および電話にて受け付けます。

応募相談期間 10月1日（木）～10月30日（金）まで（土・日曜を除く）

★エネルギー文化・スポーツ財団 助成
(11月20日締切)

中国地域にある文化に関する団体
(公益法人・地方公共団体を含む) が主催し、
中国地域内において行われる活動が対象となります。

音楽分野では、創造・普及・育成につながる音楽の公演活動、
伝統文化では、地元固有の伝統文化の保存・伝承・復活・復元活動
および発表活動が対象です。

原則として、中国地域在住者が過半数を占めるものが対象ですが、
全国規模、西日本規模の活動は、これに限りません。

▼ 詳細は、エネルギー文化・スポーツ財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<http://www.gr.energia.co.jp/bunspo/application/cat1.html>

=====

★三井住友海上文化財団 文化の国際交流活動に対する助成
(11月30日締切)

=====

音楽、郷土芸能の分野における
アマチュアが実施主体の国際交流事業に対し、
1件につき50万円の助成が行われます。

各都道府県の担当部局を通しての申請となります。
申請書類の締切は自治体によって異なるのでご注意ください。

▼ 詳細は三井住友海上文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼

<https://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp/assist/form/>

★☆☆ 助成情報【再掲載】 ★☆☆

=====

★野村財団 音楽部門 助成
(10月30日締切)

=====

若手芸術家の育成および
芸術文化の国際交流を目的とする活動を助成します。

▼ 詳細は野村財団のHPをご覧ください ▼

https://www.nomurafoundation.or.jp/culture/cu_koubo/music_gr01.html

=====

★関西・大阪 21 世紀協会 日本万国博覧会記念基金
(10 月 31 日締切)

=====

国・地方公共団体を除く公益的な事業を実施する団体が行う
「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」等への助成事業です。
今年度は初めて、複数年度助成事業（最長 3 年間）も実施されます。

▼ 詳細は関西・大阪 21 世紀協会のウェブサイトをご覧ください ▼
<http://www.osaka21.or.jp/jecfund/information/>

=====

★ロームミュージックファンデーション 音楽活動への助成
(11 月 12 日締切)

=====

独奏、室内楽、オーケストラ、オペラ等の公演等に対し、
1 件あたり最大 250 万円まで助成されます。

▼ 詳細はローム ミュージック ファンデーションの
ウェブサイトをご覧ください ▼
<https://micro.rohm.com/jp/rmf/recruitment/subsidy/index.html>

=====

★朝日新聞文化財団 芸術活動への助成
(11 月 26 日締切)

=====

公益法人や非営利団体等が行う音楽分野、美術分野の
プロおよびプロを目指す芸術家が出演する事業に助成されます。

▼ 詳細は、朝日新聞文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼
<http://www.asahizaidan.or.jp/grant/grant01.html>

=====

★三菱UFJ信託地域文化財団 助成事業
(11月30日締切)

=====

長年地域文化の振興に努力して来た団体が国内で行う、
地域文化振興に寄与する公演等に助成されます。

▼ 詳細は三菱UFJ信託地域文化財団のウェブサイトをご覧ください ▼
<http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/boshu.html>

=====

★コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金
～無観客公演等の動画の制作・海外配信を支援～

=====

新型コロナウイルス感染症の影響で
公演を延期・中止した主催事業者に対し、
今後実施する無観客公演などの開催や、
その収録映像を活用した動画の制作・海外配信の費用の一部が支援されます。

応募期限は2021年1月29日ですが、
期限内でも予算がなくなり次第、応募受付は終了されます。

▼ 詳細は映像産業振興機構（VIPO）J-LODlive 特設サイトをご覧ください ▼
<https://j-lodlive.jp>

★★★ 編集後記 ★★★

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」2020年度7号
(通巻第110号)を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

今後、全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」で
取り上げてほしい内容や、「会員等からのお知らせ」で告知したいこと、
他館に質問したいこと、共有したい情報などがありましたら、
ぜひ情報をお寄せください。

この場が皆様の情報交換の場として活用されることを期待しています。

また、本メールマガジンは、どなたでもご購入いただけます。

(申込先：<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>)

劇場・音楽堂等の運営に携わっている方やご興味をおもちの方に、
ぜひ、本メールマガジンをご案内ください。

▼ ご意見・ご感想、各種ご連絡・お問い合わせはこちらまで ▼

E-mail：bunka-XXX@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

▼ メールマガ配信のお申込みはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/magazine/index.html>

▼ メールマガ配信先アドレスの変更はこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/change.html>

▼ メールマガ配信停止の手続きはこちらから ▼

<https://www.zenkoubun.jp/form/cancel.html>

◎公演企画Navi⇒ <http://kouenkikaku.jp/>

◎公文協公演情報&TICKETS⇒ <https://stg1907.zenkoubun.kouticket.jp/>

◇◇ 公益社団法人 全国公立文化施設協会 ◇◇

〒104-0061

東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館4階

TEL：03-5565-3030 FAX：03-5565-3050

E-mail：bunka-XXX@zenkoubun.jp (※ -XXX-を削除したアドレスに送信してください。)

URL：<https://www.zenkoubun.jp>
